09105 **LX-33**

取扱説明書

この度はシーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意

※ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

⚠危険：取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が高いと想定されます。
⚠警告：取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意：取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

⚠危険

- ●本製品を分解・加工改造（ハンダ付けなど）・加熱・火中投入などをしないこと。火災や感電、発火・発煙の恐れがあります。また、分解・加工・改造品の浸水・破損・故障等の保証はいたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。
- ●本製品に装着したバッテリー/電池の端子部（＋と−）に金属物（針金やネックレス・ヘアピンなど）を接触させないこと。バッテリー/電池の液もれ・発熱・発火・破裂や、本製品の故障などにつながる恐れがあります。
- ●本製品をご使用中にバッテリー/電池の液もれが発生した場合は、すぐに火気より遠ざけること。もれた液や気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
- ●万一、バッテリー/電池の液もれが発生し、液が皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水でよく洗い流すこと。皮膚に傷害を起こすことがあります。液が目に入ったときは失明の恐れがありますので、目をこすらずにきれいな水で洗い、ただちに医師にご相談ください。

⚠警告

- ●本体ケースやバッテリーキャップを開ける際は、人体に向けないこと。バッテリー/電池の発熱などが原因となり本体内部が高圧になると、ケースやバッテリーキャップが勢いよく外れる場合があり、ケガの原因になります。
- ●内部に水や異物を入れないこと。火災や感電の原因となります。本製品は防水構造になっていますが、何らかの原因で内部に水が入ったときは、すぐにスイッチを切り、使用を中止してください。
- ●可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所では使用しないこと。引火・爆発の原因になります。
- ●ストロボやライトの発光部を床や机などにふせて発光させないこと。発熱や火災の原因になります。
- ●ストロボやライトの発光後、発光部に触らないこと。ヤケドの原因になります。
- ●自動車内の運転者に向けてストロボなどの補助光を使用しないこと。ストロボなどを使用すると目がくらみ、運転不能になり、事故を起こす原因になります。
- ●自動車など、乗り物を運転しながら使用しないこと。事故を起こす原因になります。
- ●陸上でご使用の場合、不安定な状態で使用しないこと。転落すると、死亡や大ケガの原因になります。
- ●陸上でご使用の場合、傾いたところなど、不安定な場所に置かないこと。落下すると、ケガや製品の故障の原因になります。
- ●本製品を乳幼児の手の届くところに置かないこと。付属品や小さな部品などを誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

⚠注意

- ●ご使用の前に必ず本製品の取扱説明書をよく読んでからお使いください。
- ●陸上での連続点灯は、10秒以上しないでください。
- ●煙が出たり、変な音やにおいがするときは、ただちに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
- ●万一、浸水が起きた場合は、ただちにスイッチを切り、すぐに使用を中止してください。
- ●浸水しているときは、内部の圧力が高くなっていることがあります。バッテリーキャップや本体ケースを開けるときに水が吹き出したり、バッテリーキャップや本体ケースが跳ね上がったりすることがありますのでご注意ください。ケガの原因になります。
- ●本体ケースやバッテリーキャップの開閉は、火の気のない場所でおこなってください。
- ●本製品は気密構造となっておりますので、密閉した状態で航空機などで運搬した場合、内外の気圧差が生じることがあります。本体を密閉しない状態（リアケース・バッテリーキャップを外す、ボート類を外す、裏蓋を半開きの状態にする、など）で運搬してください。
- ●水しぶきのかかるところ、湿気の多いところ、海岸など砂のつきやすいところでは、本製品の開閉をおこなわないでください。水滴落下・浸水などにより故障の原因になります。
- ●強い電波や磁気の発生する場所では、正常に動作しなくなることがありますのでご注意ください。
- ●飛行機内や病院内で使用するときは、航空会社・病院の指示に従ってください。本製品が出す電磁波などにより、計器に影響を及ぼす恐れがあります。
- ●本製品を布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもって本体が変形したり、火災の原因となることがあります。
- ●使用中の本製品に長時間ふれないでください。温度が相当上がることがありますので、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温ヤケドの原因となることがあります。
- ●本製品を落としたり、振り回したり、撮影機材を持ったままボートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因となります。
- ●ストロボ・ライト・アクセサリー類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
- ●本製品および取り付けたアクセサリーなどを持ってハウジングを持ち上げたり、運ばないでください。持ち運ぶ際はハウジング本体やグリップなどをお持ちください。落下・破損など、思わぬケガや故障の原因になります。
- ●本製品の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で本体が変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。また、浸水の原因にもなります。
- ●ご使用後は、防水されている状態で、必ず真水で洗ってください。（詳しくは「お手入れと保管上のご注意」をご覧ください）
- ●薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- ●高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は異常に高温になりますので絶対に放置しないでください。本製品はプラスチックを一部使用しておりますので、熱で変形し内部部品が破損すると、火災・感電・故障などの恐れがあります。また、高温となる環境下に製品を密閉した状態で放置しますと、内部の圧力が上がり本体の変形や反り等が生じて、浸水の原因となったり、また結露を生じたりします。
- ●水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ●ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ●万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- ●本製品のご使用上において、万一、お客様の取り扱い上の不適正による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリー等の取り替え・補償はいたしかねます。
- ●Oリングの取り扱いについては、Oリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。
- ●本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ●仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

《電池の使用上のご注意》

⚠危険

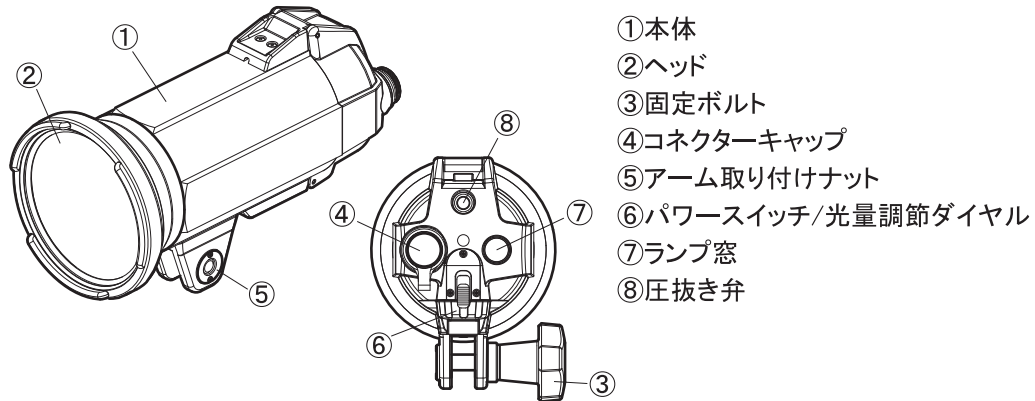
- ●バッテリー/電池を火中に投入したり、加熱しないこと。
- ●バッテリー/電池に直接ハンダ付けしないこと。
- ●バッテリー/電池を分解・改造しないこと。発熱・発火したり、強アルカリ性の液が飛散して危険です。
- ●バッテリー/電池の端子部（＋と−）に金属物（針金やネックレス・ヘアピンなど）を接触させないこと。また、金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないこと。バッテリー/電池の液もれ・発熱・発火・破裂などにつながる恐れがあります。
- ●ニッケル水素、リチウムイオンなどの充電池の充電は、専用充電器を使用して、指定の充電条件を守ること。バッテリー/電池を液もれ・発熱・破裂させる原因になります。
- ●バッテリー/電池の液もれが発生した場合は、すぐに火気より遠ざけること。もれた液や気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
- ●万一、バッテリー/電池の液もれが発生し、液が皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水でよく洗い流すこと。皮膚に傷害を起こすことがあります。液が目に入ったときは失明の恐れがありますので、目をこすらずにきれいな水で洗い、ただちに医師にご相談ください。
- ●バッテリー/電池はプラス、マイナスの向きが決められています。充電器や機器に接続するときにうまくつながらない場合は、無理に接続しないこと。プラス、マイナスの向きを確かめてください。
- ●バッテリー/電池を電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口に直接接続しないこと。

⚠警告

- ●バッテリー/電池を水や海水等につけたり、端子部分を濡らさないこと。バッテリー/電池を発熱させたり、端子等のサビの原因になります。
- ●バッテリー/電池のケース・外装チューブをはがしたり、傷をつけないこと。バッテリー/電池を液もれ・発熱・破裂させる原因になります。
- ●充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること。バッテリー/電池を液もれ・発熱・破裂させる原因になります。
- ●バッテリー/電池が液もれしたり、変色・変形その他今までと異なることに気がついたときは、使用しないこと。異常と思われたときは、すぐに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
- ●バッテリー/電池を誤って飲み込むことがないように、本体およびバッテリー/電池は、特に乳幼児の手の届くところに置かないこと。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
- ●バッテリー/電池を直射日光の当たるところや炎天下の車内、ストーブの前面などの高温の場所で使用・放置しないこと。バッテリー/電池を液もれ・発熱させたり、性能や寿命を低下させる原因となります。

⚠注意

- ●バッテリー/電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- ●ニッケル水素、リチウムイオンなどの充電池の充電方法や取り扱いについては、電池および充電器の取扱説明書をよくお読みください。
- ●ニッケル水素、リチウムイオンなどの充電池の使用（放電）は、必ず0〜50℃の温度範囲でおこなってください。
- ●ニッケル水素、リチウムイオンなどの充電池の充電は、必ず0〜40℃の温度範囲でおこなってください。
- ●ニッケル水素、リチウムイオンなどの充電池を長期間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してください。
- ●ニッケル水素、リチウムイオンなどの充電池を冷えたままや、寒い戸外（0℃以下）で充電しないでください。バッテリー/電池を液もれさせたり、性能や寿命を低下させる原因になります。
- ●バッテリー/電池の端子が汚れると、機器との接触が悪くなり、電源が切れたり充電されなくなりますので、乾いた布などで拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。
- ●ご使用後は、使用機器のスイッチを必ず切ってください。液もれの原因になります。

各部の名称

①本体
②ヘッド
③固定ボルト
④コネクターキャップ
⑤アーム取り付けナット
⑥パワースイッチ/光量調節ダイヤル
⑦ランプ窓
⑧圧抜き弁

使用方法

《バッテリーの種類》

本製品には、専用充電式リチウムイオンバッテリーが内蔵されています。

《バッテリーの交換》

正常に充電をおこなっても、バッテリーの性能が以前より著しく低下した場合、バッテリー本体の劣化や寿命が原因と考えられます。その場合は新品バッテリーとの交換をお勧めします。

※バッテリーの交換は、弊社カスタマーサービスセンターで承ります。（有料）

⚠注意

●お客様で本製品を分解し、バッテリーを交換した場合の動作・防水性能ともに保証いたしかねますのでご了承ください。

《電球の交換》

1. ヘッドを反時計回りに回し、外します。（図1）
2. 古い電球を取り外し、新しい電球をまっすぐ差し込んでください。
   ※ 電球を直接、手で触らないでください。
3. ヘッドを時計方向に止まるまで確実に回し、ヘッドの▽マークとライト本体上面の△マークを合わせてください。（図2）
   ※ ▽△マークは、ライト使用中にヘッドが緩んでいないか、確認のための目安にしてください。

ゆるむ

図1

図2

⚠注意

- ●必ず消灯後、30分以上経過させ、電球が冷えてからおこなってください。消灯直後に電球に触れるとヤケドをする恐れがあります。
- ●ヘッドを開ける際は、人体に向けて開けないでください。電球の発熱等で内部の圧力が高くなって、勢いよく開くことがありますのでご注意ください。
- ●交換の際は、新しい電球に直接手で触れないようにしてください。万一、触れてしまった場合は、乾いた布で電球を拭いてください。

《充電方法》

1. 充電コネクターキャップを下に向けて外します。（図3）
   ※ コネクター内部に水滴が残っている場合は、必ず乾いた布等で拭き取ってください。
2. 付属のACアダプターのプラグを本体に差し込むとランプ窓が赤く点灯し、充電を開始します。（図4）
3. ランプ窓が緑色になりましたら充電完了です。

充電コネクターキャップ

図3

図4

プラグ

⚠注意

- ●必ず指定のACアダプターを使用してください。
- ●充電中は、ライト本体およびACアダプターに長時間触れないでください。低温ヤケドをする恐れがあります。
- ●充電は、振動の無い平らなところでおこなってください。充電中に振動を与えると、誤動作の原因になります。
- ●プラグを本体から抜くときは、プラグを持って抜いてください。
- ●充電中は、本体に布などをかぶせたりしないでください。故障の原因になります。
- ●使用直後のバッテリーは発熱しており、正常に充電できません。常温まで下がってから充電してください。

《パワースイッチの操作》

本製品のスイッチは、電源のON/OFFと光量調節をすることができます。

【点灯・調光】
ストッパーをスライドさせてロックを解除し、パワースイッチを回してお好みの光量に調節してください。（図5）
※使用中、バッテリー残量が少なくなるとランプ窓が赤く点灯します。点灯後、約10分で消灯します。

【消灯】
パワースイッチを左方向に止まるまで回し、不意に電源が入らないよう、ストッパーをスライドさせてロックしてください。

図5

ロック解除 MIN OFF MAX ON 暗くなる 明るくなる ロック ストッパー

⚠注意

●使用していないときは、必ずパワースイッチをOFFにし、ストッパーでロックして保管してください。パワースイッチをロックしていないと、不意に電源が入り思わぬ事故の原因になります。

圧抜き弁について

本製品では、内部でガスが発生したときは、圧抜き弁よりガスを逃がす構造になっています。使用中に弁から泡の発生を認めたら、ガス発生の兆候と考えられますので次のように対処してください。

1. 直ちに使用を中止し、電源を切ってください。
2. 泡の発生を無理に止めることなく、そのまま安全な速度で浮上してください。
   （泡が出ても、弁から大量の水が入ることはありません）
3. 早急にご購入店か、弊社カスタマーサービスセンターへ点検修理をご依頼ください。

オートオフ回路について

このライトには、バッテリーの過放電を防止し、バッテリーを保護する「オートオフ回路」が内蔵されています。
この回路は、バッテリー電圧が規定値まで下がると、自動的に電源を切ります。
このため、電球が非常に暗くなる前に消灯しますが、故障ではありません。

⚠注意

●ライト本体内部への浸水に気付かずに使用したり、充電不足や過放電を繰り返して使用しますと、バッテリーの特性上、本体内部でガスが発生することがあります。

色温度変換フィルター

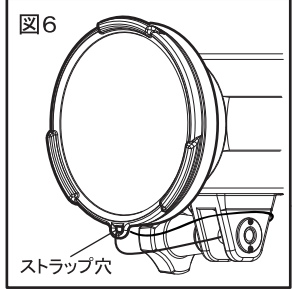
付属の色温度変換フィルターを使用して、光の赤味を抑えることができます。
光量を絞ったときなど、光の赤味が強いと感じたときに使用すると効果的です。

《取り付け》

ライト正面のヘッドに、色温度変換フィルターを図のように取り付けて使用します。（図6）

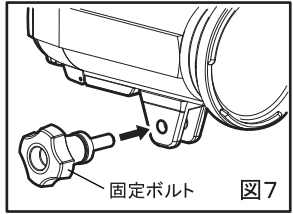
図6

⚠注意

●色温度変換フィルターは、正しく取り付けられたことを確認してからご使用ください。使用中の脱落・紛失・破損などの原因になります。
※ 色温度変換フィルターには、紛失防止用のストラップを通す穴を設けてあります。付属のフィルターストラップを通してご使用ください。（図6）

固定ボルトの取り付け

⚠注意

本製品をアーム等に取り付ける際は、固定ボルトを図7の矢印の方向から入れて固定してください。固定ボルトを逆方向から取り付けた場合、アーム取り付けナット等を破損する恐れがあります。

図7

『PASSED』シールのお知らせ

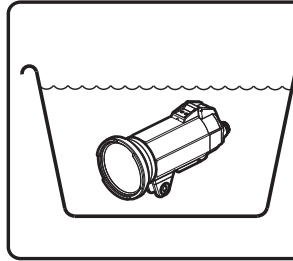
この【耐圧検査合格シール】（PASSEDシール）が貼られている製品は、株式会社シー・アンド・シー耐圧検査基準に基づいた検査に合格している製品であることを表しています。

お手入れと保管上のご注意

- ●薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- ●ご使用になった後は、必ずコネクターキャップを取り付け、防水されている状態で、図のように充分に真水につけてから流水で洗ってください。可動部分（レバーやボタンなど）は動かしながら洗ってください。
- ●充分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、浸水の原因になることもありますので、必ず真水に充分に浸けてください。

- ●水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。

- ●熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となることがありますのでおやめください。
- ●長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
- ●ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ●ご使用になった後は、Oリングのメンテナンスをしてから保管してください。ご使用の前後に必ずOリングの点検をし、早めの交換をおすすめします。
- ●製品の性能を維持するために、お買い上げいただいてから2年間経ちましたら、もしくは長期間の保管の後にお使いになる場合には、オーバーホールにお出しになることをおすすめします。（有料）

仕様

項目	内容
【電源】	内蔵型専用充電式リチウムイオン電池7．4V 5000mAh
【電球】	33Wハロゲンランプ
【色温度】	約3600K
【照射角】	約80°
【電球寿命】	約50時間
【連続照射時間】	約60分〜100分
【充電時間】	約4時間（完全放電時）
【耐水圧深度】	60m
【使用環境温度】	充電時：0℃〜40℃ 使用時：0℃〜30℃
【材質】	ヘッド・本体：耐腐蝕アルミニウム合金、リアケース：ABS樹脂
【質量】	約960g（水中質量 約＋150g）
【最大寸法】	96（幅）×120（高さ）×194（奥行）mm
【付属品】	取扱説明書、Oリングメンテナンスマニュアル 色温度変換フィルター、ACアダプター、フィルターストラップ 固定ボルト、シリコングリス

※仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

株式会社シー・アンド・シー
〒332-0016 埼玉県川口市幸町3-2-20 TEL. 048-256-2251
カスタマーサービスセンター TEL. 048-255-8512
http://www.seaandsea.co. jp

0610-Z-01